

弘前市交通安全教育協会から依頼を受け城北公園SL広場に設置するテーブルベンチを製作

総合建築科では、職業訓練で学ぶ建築の知識と技能を活かし、実習と地域貢献活動の一環として、持続可能な地域づくりに協力する職業訓練に取り組んでいます。今回、城北公園交通広場を管理している一般財団法人弘前交通安全教育協会様から、「公園を利用する方々からSL機関車の前で休む場所が欲しい」という意見が多数あるので、学生の訓練実習の一環としてベンチを製作して欲しい旨の依頼があり、総合建築科の2年生20名が県産材のひばを材料にテーブルベンチを作成し、令和6年7月24日(木)に現地にて引渡し式を開催しました。



引渡し式では弘前交通安全教育協会の小山三千雄会長から当校の外崎彰校長へ感謝状が贈呈され、その後、ベンチの製作作業に携わった総合建築科2年の柴田竜士さんと廣川空良さんから同協会の小山三千雄会長と山口裕通事務局長へ、ひば材で製作した5分の1のテーブルベンチの模型が記念品として手渡されました。



テーブルベンチの製作に携わった学生からの感想



総合建築科2年
佐藤 一馬

弘前学院聖愛高等学校卒業

今回はこのような経験をさせていただきましてありがとうございます。学校の実習でも「商品」を作るという意識を持って取り組むようにと言われていたのですが、実際に依頼されたものを作り、それを利用する人がいるという経験を在学中に体験することができ、とても勉強になりました。木工機械を使って材料を製材するところから始まり、ビス打ちや塗装などいろいろな作業をしました。ガタつかないように部材の寸法を測りながら組み立てるという作業が特に難しく感じました。難しい作業もありましたが、完成した時の達成感を忘れず、これからも学校の訓練に取り組むようにしていきたいです。



総合建築科2年
三浦 尚音

青森県立
柏木農業高等学校卒業

実習でSL広場に設置するテーブルベンチの製作という貴重な機会をいただきましてありがとうございます。公園内に設置するテーブルベンチは、SL広場を訪れる多くの方が利用するものになるので、仕上がりに細心の注意を払いながら、ひとつひとつの工程を丁寧に行いました。各班に分かれての作業となったので、全体をまとめる人、細部の調整を行う人など役割分担をして協力することは、これからの仕事にも活かせる内容であり、とても勉強になりました。テーブルベンチの設置後は、公園を利用する方々が快適に休める場として、この先何年も多くの方に利用してもらえたら嬉しいです。

また、作業を担当した学生を代表して佐藤一馬さんと三浦尚音さんから、「今回の実習では、ベンチがガタつかないように造ることを心掛け、お客様から商品として依頼を受けて製作したので、大切に扱うようにしました」「ベンチは公園を訪れる方々が利用することになるので、仕上がりに細心の注意を払い、ひとつひとつの工程を丁寧に作業するようにしました」という感想の発表がありました。



今回の実習では、地域の公園施設の一部の整備を担当させていただき、改めて「持続可能な地域づくり」に協力することができたことを実感しました。今後も継続的に地域と学校が連携・協働しながらつながりを深め、当校の強みである「ものづくり」を通して弘前のまちをもっと元気にしていきたいと感じました。